

市町村名	那須塩原市
所屬名	高齢福祉課

地域の目指す姿(ビジョン、大目標)
いつまでも健やかにいきいきとともに幸せな未来を創るまち

※「介護保険事業(支援)計画の進捗管理の手引き(平成30年7月30日厚生労働省老健局介護保険計画課)」の自己評価シートをもとに作成

保険者名	第9期介護保険事業計画に記載の内容					R7年度(年度末実績)			
	大区分	中区分	現状と課題	第9期における具体的な取組	目標 (事業内容、指標等)	実施内容	自己評価	自己評価の理由	課題と対応策
那須塩原市	①自立支援・介護予防・重度化防止	①自立支援・介護予防・重度化防止	高齢者人口の増加傾向は今後も変わらずに推移していくことが予測されており、特に後期高齢者(75歳以上)の増加が顕著であることから、健康寿命の延伸を目的とした健康づくり、介護予防の取組はますます重要になる。 65歳以上の市民アンケート調査結果を見ると、健康な人の割合は減少している。外出や交流機会を増やし、様々な運動や健康づくりの教室の開催に加えて高齢者自身が健康なうちから健康づくりの重要性を十分に理解し、将来に向けて積極的に取り組んでいく意識づくり、機会づくりも重要となっている。	地域づくり型介護予防事業の推進 (いきいき百歳体操による通いの場の設置)	通いの場の開催箇所数 R7年度計画値：49箇所	通いの場の設置箇所数 60箇所 (令和8年3月末)	◎	実績値が計画値を上回ったため、◎とした。	住民主体による介護予防に取り組む団体を増やしていくために、新規の通いの場等を作ることの重要性の周知が必要である。また、継続的な活動を行うための支援も重要である。
那須塩原市	①自立支援・介護予防・重度化防止	②生活支援体制整備	一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯が増加しており、これらの背景の一要因ともなっている核家族の増加は全国的にも進行している。 ケアマネジメント業務実態調査結果から、地域で不足しているインフォーマルサービスとして、外出、ゴミ出し、見守りへの支援をあげている。 統計データの推移から、今後高齢者のみで暮らす世帯は増えていくことが推測され、移動や体力を必要とする作業、日々の安全確保など、身の回りの少しの手助けや支え合いが身近な人同士で行われていく地域づくりが重要であるととも、こうした毎日のちょっとしたサポートをサービスとして、より充実させて提供できるような体制や仕組みづくりを検討していく必要がある。	地域見守り支え合い体制の整備	見守り活動実施自治会数 R7年度計画値：160件	見守り活動実施自治会数 159箇所 (令和8年3月末)	○	概ね計画通りの実績であるため	社会福祉協議会の支援員と地域支え合い推進員が自治会等の会議に参加しながら、説明及び地域とのコミュニケーションを図ったことで、見守り活動を実施する自治会が増えた。 未設置の自治会等に対し、引き続き活動への取組を働きかけていく。 自治会によって、組織規模や地域性など様々であるため、その自治会で取り組みやすい、又負担のない見守り活動を提案していく。

市町村名	那須塩原市
所属名	高齢福祉課

地域の目指す姿(ビジョン、大目標)
いつまでも健やかにいきいきとともに幸せな未来を創るまち

※「介護保険事業(支援)計画の進捗管理の手引き(平成30年7月30日厚生労働省老健局介護保険計画課)」の自己評価シートをもとに作成

保険者名	第9期介護保険事業計画に記載の内容				R7年度(年度末実績)				
	大区分	中区分	現状と課題	第9期における具体的な取組	目標 (事業内容、指標等)	実施内容	自己評価	自己評価の理由	課題と対応策
那須塩原市	①自立支援・介護予防・重度化防止	③認知症施策	65歳以上の市民アンケート調査結果から、介護を受けていない高齢者と在宅で介護を受けている高齢者の主な介護者のいずれも、認知症への不安を感じている割合が多くなっている。また、認知症のリスクが高まる年齢層を含む後期高齢者(75歳以上)の本市の人口は、おおよそ10年先まで増加傾向である。認知症予防支援と早期発見対応が重要な取組となるとともに、市民が認知症になったときは、その介護者に負担がかかりすぎないよう、他機関との連携や地域での支え合いによって当人とその周囲の人の不安を軽減するための取組を充実していくことが重要となっている。	認知症の人への支援体制の整備	認知症サポーター数 R7年度計画値：8,000人 認知症地域支援推進員数 R7年度計画値：16人	認知症サポーター数 8,323人 認知症地域支援推進員 13人 (令和8年3月末)	○	概ね計画通りの実績であるため	認知症地域支援推進員を中心に、ケア会議や協議体と連携し、認知症サポーター養成講座や情報通信技術を活用したみまもりあいシステム等の普及啓発を行いながら、地域住民や地域の法人等に直接向き、認知症に関する理解を深めていく。
那須塩原市	①自立支援・介護予防・重度化防止	④その他							
那須塩原市	②介護給付適正化		高齢化人口の増加に伴う要介護(要支援)認定者数の増加により、介護給付費が増加している。 不適切な給付を削減することはもとより、利用者に他する適切な介護サービスを提供することで、介護保険制度の信頼性を高め、持続可能な介護保険事業を確立するため、介護給付費の適正化に取り組む。	適正な給付と介護保険の健全化(介護給付等費用適正化事業) 【第9期計画P97】	第9期計画に位置付けた次の3事業の計画的な実施 ・要介護認定の適正化 ・ケアプラン等の点検 ・医療情報との突合、縦覧点検 【第9期計画P98】	①要介護認定の適正化 ・認定調査内容の点検の実施 ・認定調査員や審査会委員を対象として研修の実施 ・審査会において、職種に偏らない合議体の編成や半年ごとのメンバーの入れ替えを実施 ②ケアプラン等の点検 ・居宅介護支援事業所からケアプランの提出を求め、年32件実施 ・実地指導担当と連携し、実地指導と併せてケアプラン点検を実施 ③医療情報との突合・縦覧点検 ・国保連合会介護給付適正化システムから提供される「医療情報との突合」「縦覧点検」情報の確認等について実施	○	概ね、計画通り実施することができたため	計画値を下回った項目もあったが、計画的に実施することができた。 なお、住宅改修等の調査については、給付適正化主要事業がケアプランの点検と一本化されたことを踏まえ、必要に応じて実施していくこととする。